

第1回 泡瀬地区スタンプラリー 2010

～経過報告～



1. 経過報告

(1) 開催

平成 22 年 3 月 22 日（月）春分の日の振替休日

(2) 経過報告について

泡瀬地区の社会環境に関連する地区の文化財や旧跡、施設等を見学し、また、泡瀬自治会、泡瀬復興期成会、泡瀬小学校等の協力でスタンプラリーを実施した。

必要な準備は本事業の作業内で行ったが、主たる運営は今後の継続開催を図る目的で、泡瀬自治会、泡瀬復興期成会等の地元の住民が行った。

本経過報告書は、準備段階から、当日の実施の様子、成果や課題等を取りまとめ、スタンプラリーの資料を合わせて整理した。

(3) 事前の準備

- ・企画段階で泡瀬復興期成会の渡嘉敷直也さんを窓口地域に地域の協力及びスタンプラリーの運営について全面的に協力をお願いした。
- ・参加者の募集については、泡瀬小学校 PTA 事務局の上江洲さんに 4～6 年生を対象にスタンプラリーの概要を付した参加募集のチラシを配布した（300 枚程印刷）。参加者は 28 名（4 年生 14 名、5 年生 12 名、2 年生 1 名、大人 1 名）、参加者には再度スタンプラリーのプログラムを配布した。
- ・日程の調整については、3 月の土日、祝日を想定していたが、卒業式の前後、沖縄マラソン等の行事が重なり、最終的には 3 月 22 日（月）の開催に決定した。
- ・参加者への配布資料として、スタンプラリーマップ、各ポイントの説明書（①～⑫）、主要ポイント（①ビジュアル、②積場跡、③匠の家、④前之御嶽、⑧馬車軌道駅跡、⑨塩田の碑、⑪比屋根湿地、⑫泡瀬飛行場滑走路跡）で配布するシールを印刷（外注 300 枚）した。参加する子どもたちには資料を整理する A4 サイズのクリアファイル（参加証のシールを貼り）を手渡した。
- ・関係者用の資料として、参加者名簿（申込時）、実施要項、タイムスケジュール・各ポイントの概要、当日準備品等一覧、スタンプラリーマップ（シール貼付台紙、ルート付）、スタンプラリーマップ（全シール貼付）、各ポイントの説明書、泡瀬地区社会ワークシート（先生用あんちょこ式）をファイリングして配布した。
- ・各ポイントには、参加者に配布する説明資料、主要ポイントのシール、昔と現在の

地図（各ポイントが比較して分かるように赤いシールを貼り）を準備した。

- ・準備した各ポイントの名称（A3 で各ポイントの名称が分かるように、台紙に貼り付けて紐で吊るすタイプ）、コース・各ポイントが分かるように誘導する矢印の看板（4 タイプ）を作成したが、当日準備の段階で使用されなかった。

（４）当日スケジュール、流れ

日時：集合 9：30（ビジュアル）

説明 9：50

開始 10：00～

※ 8：30 に関係者は、泡瀬公民館前に集合した。

（５）順路（予定どおり実施）

①ビジュアルで集合・受付・説明 → ②積場跡（消防署手前） → ③匠の家 → ④前之御嶽 → ⑤カーヌ毛 → ⑥泡瀬マリーナ（入口手前付近） → ⑦泡瀬通信隊（ゲート前付近） → ⑧馬車軌道駅跡 → ⑨塩田の碑 → ⑩泡瀬の塔 → ⑪比屋根湿地 → ⑫泡瀬飛行場滑走路跡（かねひで付近）をまわり泡瀬公民館でゴール・解散

- ・ 12：30 泡瀬公民館着（予定より 30 分程早く）、受付した名簿により人数確認、修了シール配布、アンケート記入をお願いし、参加賞としてお菓子（泡瀬復興期成会から）を配った。
- ・ 12：45 無事すべてのプログラムが終了し解散した。参加した子どもたちは徒歩で帰宅した。

（６）実証を終えた感想

- ・ 当日の天候は晴で、歩くと少し汗をかく程度の気温で特に問題なく無事全員完走できた（中国からの黄砂による影響が懸念されたが）。
- ・ スタンプの無いポイントでも、説明文をもらわないといけないということで、子どもも喜んで話を聴いていた。全部そろえる、集めるという仕掛けは子どもにとってかなり有効と言える。
- ・ 子どもたちは、匠の家での樽皮の材料や道具、カーヌ毛での焼け焦げたコールタ

ールの破片などに興味を見せていたように、物として提供できるものがあればさらに効果的と言える。

- ・各自に配布したスタンプラリーマップの見方、位置の把握、各ポイントを回るルートの確認など地図を使った行動が難しいようであった。結果として、自主的なグループ行動は出来ず大人の誘導で全員が固まって歩くことになってしまった。
- ・今回は特別に TV の取材が同行して、意識する子どもも見られた。外部の関係者と一緒になる場合、自然に振る舞えるように配慮が必要か。

(7) 行事化への課題

① 主催者へ

- ・集団での移動は難しそうで、子供がバラけるので各ポイントには人間の張り付きが必要である。
- ・説明が慣れていないポイントがあるように感じられ、子どもが飽きてしまうので簡単で大事なところに絞って話す工夫をする必要がある。
- ・人間の配置は多めに、水分補給用のピッチャーなどを2箇所くらい設置したほうが良い？（トイレのあるポイントで）
- ・事前に調べて、コース上のトイレ情報を入れた地図があるといいと思った。
- ・集合時間を過ぎて当日参加した子どもがいたり、開始が少し遅れたが④前之御嶽、⑤カーヌ毛では説明者も慣れてきたようで、当初のタイムスケジュールに戻った。
- ・企画、準備段階で資料づくり、運営方法等について関係者で何度も確認が必要であった。
- ・今回は試験的な取り組みであり、課題や問題点改良点を洗い出すことも視点として考えられるため、次回から主体的に運営に関わる地域の青年部及び小学校 PTA 等が参加して直に体験しておけば、第2回の開催はスムーズにいくのではないか。
- ・高齢の方々が運搬や説明係と負担が大きいので、子どもたちの親の世代のスタッフの確保が是非とも必要である。
- ・コースの途中、後半で少し気分が悪くなった子ども（2名）が見られた。車が同行していたので同乗させる準備もしたが、ゴールまで無事完走した。受付や各ポイントでの健康状態の確認には注意を払うようにすべきである。適度な水分補給や木陰での休憩など。

② 参加者へ

- ・ 筆記用具、かばん、帽子等は各自で持ってくるよう参加申込書に記入する必要がある。それでもかばんや筆記用具、水筒持参の子どもも見られた。
- ・ 参加者には事前にスタンプラリーの説明（どんなことをするのか）、地図遊び等をとおして事前の準備、心得が必要ではないか。

（８）資料やポイントでの準備、改良等

- ・ 塩田の道具が匠の家にあるのに塩田の碑のところでは話だけ、などポイントごとに見せる、説明する工夫がもっとあるべきである（昔の写真など）。
- ・ 各ポイントで配る説明文で、泡瀬の移り変わりの地図（先生用あんちょことは別資料）は資料として提供したほうが良い。
- ・ 各ポイントでハンコがあるととても良いのではないか。
- ・ 参加することもちが、学習できるワークシート（各ポイントの概要、説明の内容、質問等を記入する）を加えると意欲が増すのではないか。

（９）スタンプラリーの様子（スタートからゴール）



01 ビジュルで受付の様子（少し緊張気味）



02 ビジュルで受付の様子



03 ビジュルで受付の様子



04 ビジュルについて説明、当真正幸さん



05 ビジューについて説明(当真正幸さん)



06 積場跡での受付、渡嘉敷直也さん



07 積場跡での受付(最後の子どもたち)



08 匠の家 スタンプラリー実施の表示



09 匠の家の受付



10 匠の家で説明する志喜屋進さん



11 匠の家の受付(資料、シールをもらう)



12 匠の家内部の様子(道具がいっぱい)



13 匠の家で説明する志喜屋進さん



14 匠の家で道具の説明、実演



15 匠の家で押しカンナの使い方を説明



16 匠の家で樽皮の説明



17 匠の家で樽皮の作り方を説明



18 前之御嶽に向けて歩く参加者



19 前之御嶽で説明する普久原朝健さん



20 前之御嶽で説明する普久原朝健さん



21 カーヌ毛で子どもたちと当真正幸さん



22 説明後ポイントのシール、資料を受取る



23 カーヌ毛で説明する当真正幸さん



24 泡瀬マリーナでの受付の様子



25 泡瀬マリーナの資料を配布



26 泡瀬マリーナの資料を配る志喜屋進さん



27 泡瀬通信隊前で説明する普久原朝健さん



28 泡瀬通信隊前で説明する普久原朝健さん



29 馬車軌道駅跡で説明する当真正幸さん



30 塩田跡での受付の様子



31 塩田跡での受付の様子



32 塩田跡 志喜屋進さんが担当



33 泡瀬の塔での受付、当真正幸さん



34 泡瀬の塔を見学する参加者たち



35 泡瀬の塔について説明する当真正幸さん



36 泡瀬の塔について説明する当真正幸さん



37 比屋根湿地を説明する普久原朝健さん



38 比屋根湿地を背後に普久原朝健さん



39 比屋根湿地を説明する普久原朝健さん



40 滑走路跡で説明する当真正幸さん



41 滑走路跡、普久原朝健さんも加わる



42 滑走路跡を元気に歩く参加者



43 滑走路跡からゴールに歩く参加者



44 参加者全員が無事ゴールに到着



45 最後に完走証(シール)を受取る



46 終了のあいさつをする渡嘉敷直也さん



47 参加した子どもたち、少し疲れた様子？



48 あいさつが終わり、すべて無事終了！

2. 配布資料（※スタンプラリーの参加者、関係者、説明者用として準備した資料）

（1）参加者アンケート集計結果

参加者27名（大人1名含む）にゴール直後に、アンケート用紙へ記入してもらった。回答者は25名。疲れていたはずであるが、快く協力してもらった。集計結果は、以下のとおりである。

Q 1. 今回の泡瀬スタンプラリーは楽しかったですか？

①はい 25名 ②いいえ 0

Q 2. どんなどころが、楽しかったですか？（※複数回答あり）

- ①グループでまわって 12名
- ②お話が楽しかった 4名
- ③地図がわかりやすかった 1名
- ④いろんな場所を一度にまわって 7名
- ⑤泡瀬のことを勉強できて 6名
- ⑥マップにシールをはってもらい 3名
- ⑦その他 1名（みんなと楽しくあるけて）

Q 3. 各ポイントでのお話しは、よくわかりましたか？

①はい 24名 ②いいえ 1名

Q 4. またスタンプラリーに参加したいですか？

①はい 25名 ②いいえ 0

Q 5. スタンプラリーに参加して、思ったこと、感じたことを書いてください。

- ・ぼくは、いろいろ勉強しました。思ったことは、なんでしおをつくるのかわからなかったです。
- ・沖縄市泡瀬のことをとてもよくしって、また、さんかしたいと思いました。
- ・やるまえは、あわせのことなんてだいたいしっていると思ってたけど、しらないことがいっぱいあってとてもたのしかったのでよかったです。
- ・地元の方からの話がおもしろかったです。もっと色んな人の話をききたい。
- ・かねひでの方に飛行場があるのがしらなかったです。本当にありがとうございました。
- ・シールの裏紙を捨てるゴミ袋を用意しておいた方が良い。
- ・次は、泡瀬のひがたを見たいです。あと、かつそうろあとがおもしろかったです。
- ・米軍泡瀬飛行場滑走路跡にひこうじょうがあるとは知りませんでした。
- ・いろいろなことがわかった。
- ・ぼくがしらない、泡瀬のことがよく分かった。
- ・いろいろなひとと、話したからたのしかった。
- ・テレビ局の人も来てて、ちょっとドキドキしたけど友だちと、さらに仲よくなれたし、一度にたくさん場所のことがわかったのでよかったです！
- ・友だちとあわせのことを知れて楽しかった。
- ・いろいろなところへ行って、いろいろなことがわかった
- ・泡瀬（の近く）に住んでいても、知らないことがあるんだなと思った。
- ・参加してとてもよかったです。
- ・もどるときにくすぐられてつかれた。
- ・長い時間歩いて大変だったけど、泡瀬の事が分かってよかった。
- ・次はルールを守って行きたい。
- ・さいごの方がすこしつかれたけど、いろんな所をまわってよかったです。
- ・いろいろなことを勉強してたのしかった。いろんなことをおしえてもらった。
- ・5年女子が2人でちょっとさみしかったけど、楽しくまわってよかった。
- ・さいごのたっせいかんを感じました。
- ・いろいろなことがわかった。

※回答なし1名

平成22年3月22日（月）

今回のスタンプラリーはいかがでしたか？
みなさんの感想を書いてもらい、今後の参考にしますので思ったことを書いてね。

①はい ②いいえ

①グループでまわって ②お話が楽しかった ③地図がわかりやすかった

④いろいろな場所を一度にまわって ⑤泡瀬のことを勉強できて

⑥マップにシールをはってもらい

⑦その他（ ）

①はい ②いいえ

①はい ②いいえ

Q5. スタンプラリーに参加して、思ったこと、感じたことを書いてください。

16

(2) スタンプラリー・マップ、各種表示



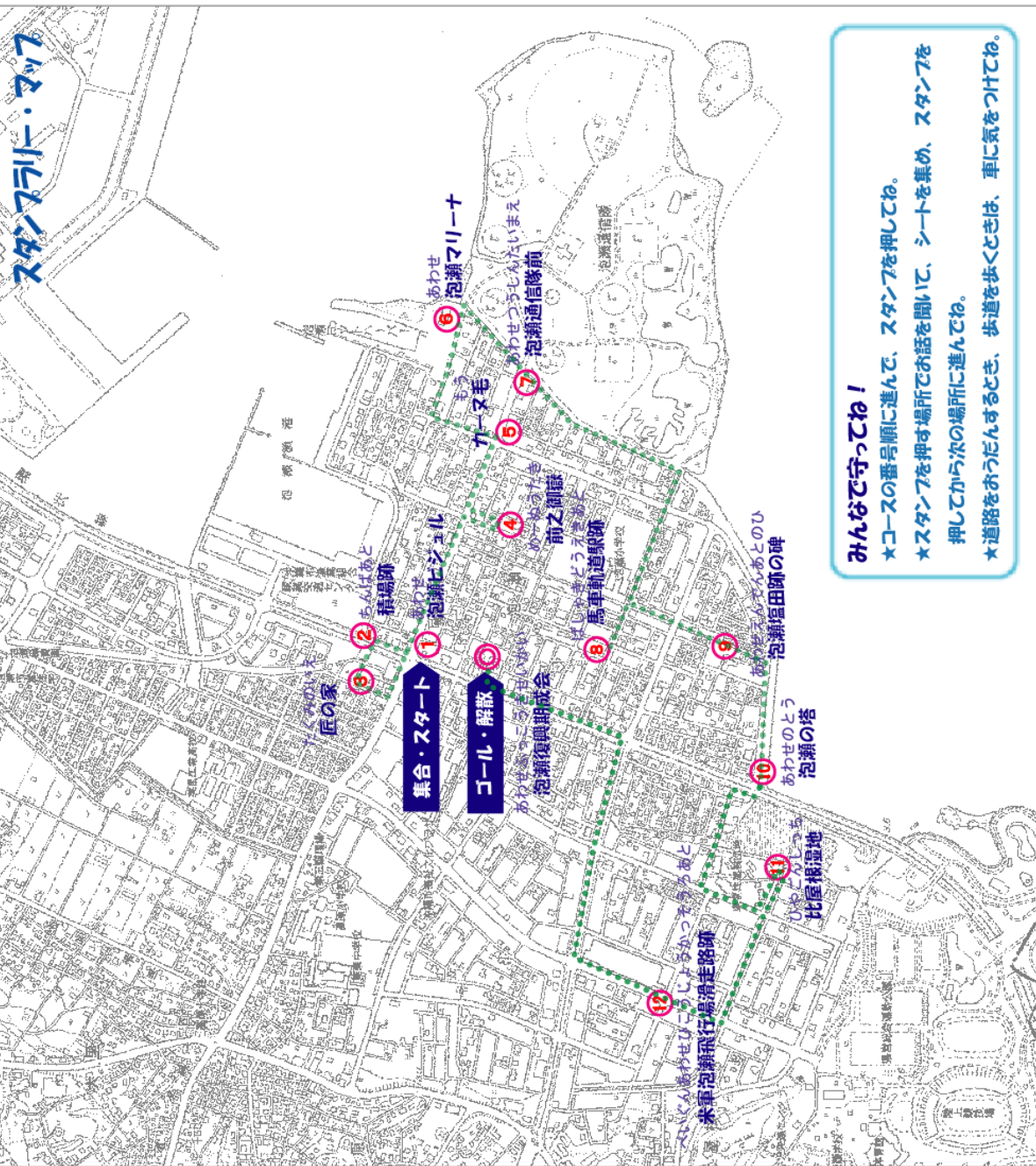
ねらい！

- ★みんなの住んでいる泡瀬。みんなは、どれくらい泡瀬のことを知っているかな？
- ★いつも表れている、道ばたにある泡瀬の歴史についてもっとわしくなろう！
- ★全部のポイントをまわって、ゴールしてね。

1	2	3	4
8	9		
11			ゴール

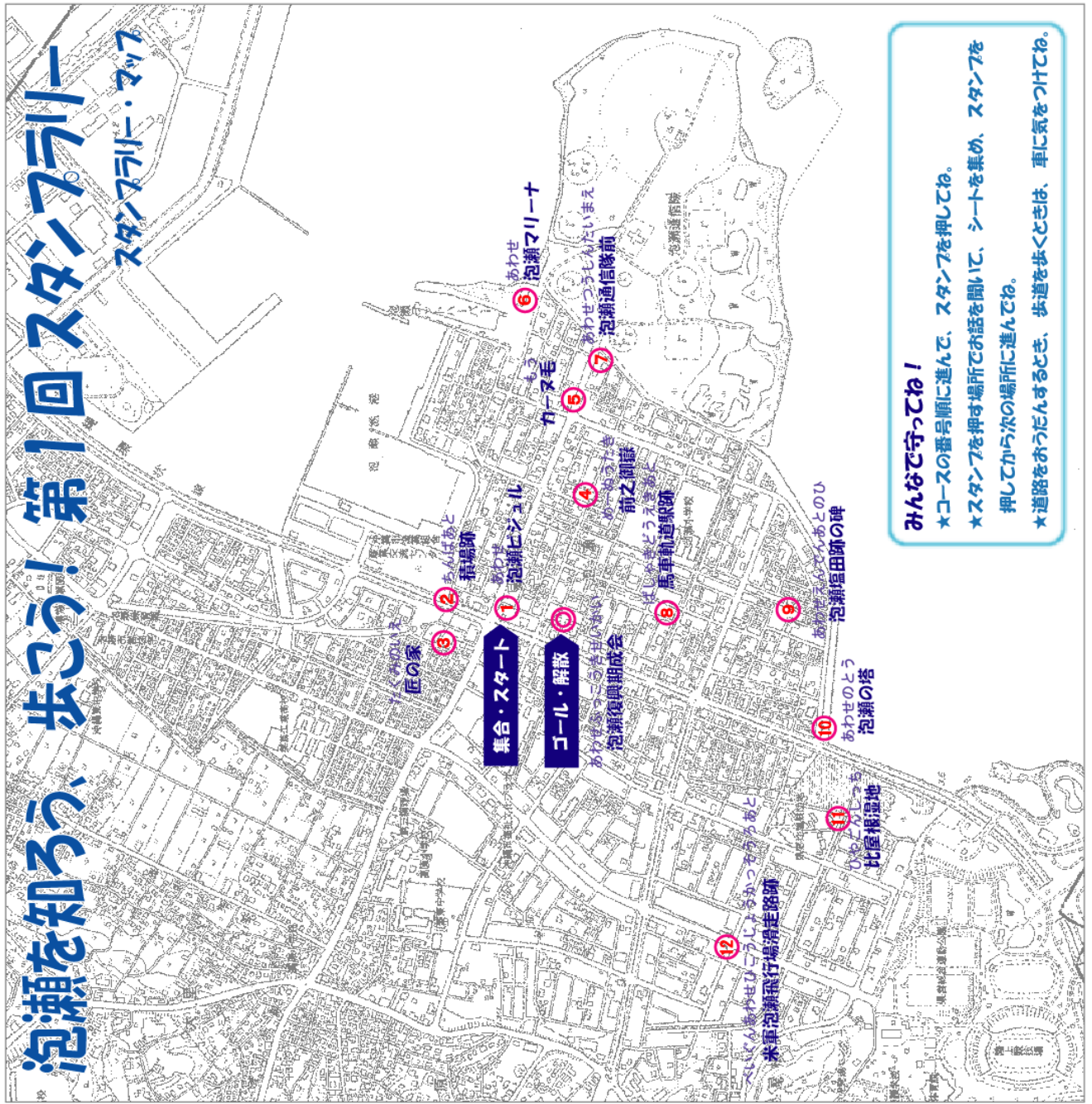
泡瀬を知ろう、歩こう！ 第1回スタンプラリー

スタンプラリー・マップ



みんなで守ってね！

- ★コースの番号順に進んで、スタンプを押してね。
- ★スタンプを押す場所でお話を聞いて、シートを集め、スタンプを押してから次の場所に進んでね。
- ★道路をおうだんするとき、歩道を歩くときは、車に気をつけてね。



ねらい！

- ★みんなの住んでいる泡瀬。みんなは、どれくらい泡瀬のことを知っているかな？
- ★いつも歩いている、道ばたにある泡瀬の歴史についてもっと知ろう！
- ★全部のポイントをまわって、ゴールしてね。



1



2



3



4



8



9



11



ゴール

みんなで守ってね！

- ★コースの番号順に進んで、スタンプを押してね。
- ★スタンプを押す場所でお話を聞いて、シートを集め、スタンプを押してから次の場所に進んでね。
- ★道路をおうだんするとき、歩道を歩くときは、車に気をつけてね。

(3) 各ポイントの名称表示

① 泡瀬ビジュアル

第1回
泡瀬
スタンプラリー

② 積場跡

第1回
泡瀬
スタンプラリー

③ 匠の家

第1回
泡瀬
スタンプラリー

④ 前之御嶽

第1回
泡瀬
スタンプラリー

⑤ カヌモ

第1回
泡瀬
スタンプラリー

⑥ 泡瀬マリーナ

第1回
泡瀬
スタンプラリー

⑦ 泡瀬通信隊前

第1回
泡瀬
スタンプラリー

⑧ 馬車軌道駅跡

第1回
泡瀬
スタンプラリー

⑨ 泡瀬塩田跡の碑

第1回
泡瀬
スタンプラリー

⑩ 泡瀬の塔

第1回
泡瀬
スタンプラリー

⑪ 比屋根湿地

第1回
泡瀬
スタンプラリー

⑫ 米軍泡瀬飛行場
滑走路跡

第1回
泡瀬
スタンプラリー

※A3シートを縮小一覧で表示

第1回
泡瀬
スタンプラリー

泡瀬ビジュル

第1回
泡瀬
スタンプラリー

積場跡

第1回
泡瀬
スタンプラリー

匠の家

第1回
泡瀬
スタンプラリー

前之御嶽

第1回
泡瀬
スタンプラリー

カーヌ毛

第1回
泡瀬
スタンプラリー

泡瀬マリーナ

第1回
泡瀬
スタンプラリー

泡瀬通信隊前

第1回
泡瀬
スタンプラリー

馬車軌道駅跡

第1回
泡瀬
スタンプラリー

泡瀬塩田跡の碑

第1回
泡瀬
スタンプラリー

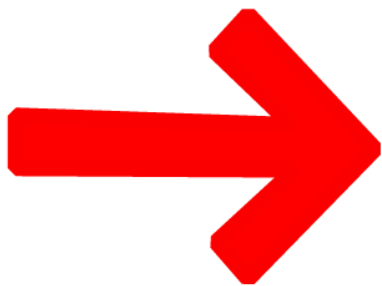
泡瀬の塔

第1回
泡瀬
スタンプラリー

比屋根湿地

第1回
泡瀬
スタンプラリー

米軍泡瀬飛行場滑走路跡

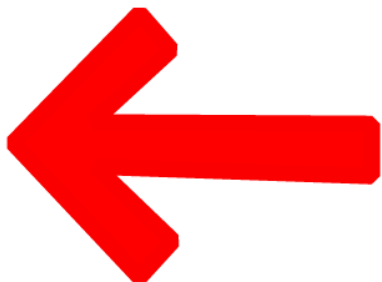


第1回泡瀬地区スタンプラリー

各ポイントへの誘導表示



**第1回泡瀬地区
スタンプラリー**

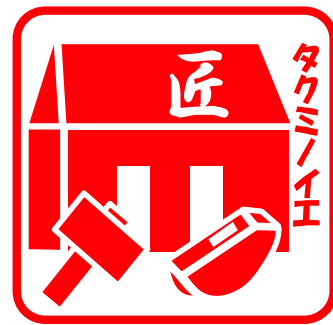
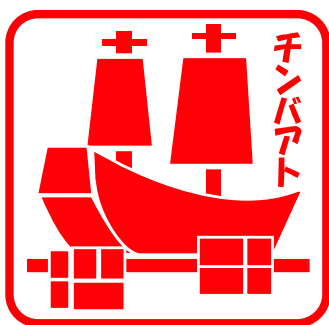


第1回泡瀬地区スタンプラリー



**第1回泡瀬地区
スタンプラリー**

※各A4シートを縮小一覧で表示



各ポイントのシールデザイン(原寸)

(4)実施要項(※準備段階で調整用として利用)

第1回泡瀬地区スタンプラリーの実施準備段階において、地域・学校等の調整用の資料として用いた。

1. テーマ

“みんなのまち 泡瀬地区を歩いて 見てみよう！”

- ・今回のイベントは、地区の発見をテーマに子どもたちを中心に自分たちの住んでいるまちの成り立ちについて、コースのポイントに解説を加え現場で学ぶプログラムを実施する。

3. 目的

- ・「泡瀬地区の見所マップ」を活用し、地区内の社会学習の資源となる史跡・昔の面影のある場所等を巡るスタンプラリーの実証をとおして、学習用教材の有効活用、現場での解説等、継続しやすい取り組み、総合的な学習プログラムの確立につなげることを目的に開催する。
- ・第1回の開催をとおして、新たな地域資源の発掘につなげ、地域での自主運営に向けた次回の開催への課題を抽出する。
- ・今後は地域で取り組み、地域の団体や住民等の参加型イベントの開催を目指し、身近な地域の見所をとおして、まちの形成、生活環境を再認識する良い機会でもあり、さらなる地域コミュニティの構築に寄与するものと考えられる。

4. 開催日時 ※スケジュール決定

平成22年3月22日(月)・春分の日振り替え休日

- ・午前9:30 集合(泡瀬ビジュアル)、9:40 スタート、午後1:00 解散(泡瀬復興期成会)

※荒天の場合は延期する？(小雨であれば安全を確認して実施する)。

5. 参加者募集 ※チラシによる募集

- ・手作りポスター(※別紙)、開催のチラシ(※別紙)を関係者へ配布(泡瀬小学校、泡瀬復興期成会、泡瀬公民館)
- ・対象者は、小学校3～6年生(男女問わず)、申込には親の同意が必要。
- ・定員:10名、5名で2グループ
- ・申込用紙(※別紙)に必要事項を記入し申し込む。
- ・参加費は無料。
- ・申込時に傷害保険に加入。

6. 実施方法 ※地域からガイド、リーダーの協力依頼、役割の分担確認、コーディネータは国建？

- ・コースマップを片手に、泡瀬地区の旧跡散策を行う。地区の住民も参加して、地域を見て歩く。
- ・各コースのポイントでは、地域住民の協力により人員配置、解説をお願いする。
- ・主要な順路のポイントで、コースマップにスタンプを押しながら進めていく遊びの要素を取り入れる。

7. プログラム

- ・準備
- ・集合・スタート:泡瀬ビジュアル、ゴール:泡瀬復興期成会
- ・エントリー:チーム名簿確認(チーム名、参加者)
- ・スタンプラリー(コースマップ)台紙配布
- ・説明・諸注意、質疑応答
- ・無事ゴールしたら参加賞(※例:昼食用パン・飲み物)を泡瀬復興期成会から提供

8. 事前準備 ※地域からの写真・地図等の提供、事前に打合せが必要

- ・各チェックポイントで使用する解説用のパネル(昔の地図、写真)
- ・スタンプラリーのしおり(開催の概要、チェックポイントの解説、コースマップ等)

- ・スタッフ名簿、役割分担
- ・団体保険(参加児童)加入の手配

9. 当日・準備 ※地域からの協力者の確保、役割分担のお願い

- ・テントはゴールの泡瀬復興期成会に設営
- ・イス、テーブル: 受付、各チェックポイント(7か所)、8セット
- ・救急箱
- ・スタンプ、スタンプ台: 7セット
- ・コースのポイントに、スタンプラリー開催中の看板、ポイントの目印?
- ・スタッフ名簿、役割分担

10. 主催

- ・沖縄市建設部東部海浜開発局

11. 共催

- ・株式会社 国建

12. 協力 ※各種団体の確認

- ・泡瀬小学校
- ・泡瀬復興期成会
- ・泡瀬自治会 等

<協議・確認事項>

- ・子どもたちの募集、参加人数の確認
- ・集合時間、全体スケジュール
- ・イス、テーブル、テント等の確保(自治会、期成会)
- ・コースルートの設定(危険個所の確認・回避)、現地の状況でポイント箇所の変更もあり得る
- ・基本的に子どもたちの自主性でルートを回る(地図を読む訓練)
- ・スタッフの確保、役割分担(各ポイントの配置、説明者、同行者)
- ・協力団体の確認
- ・次回打合せ日程、内容等

(5) 参加者申込用紙

“みんなのまち 泡瀬地区を歩いて 見てみよう!”

第1回 泡瀬地区スタンプラリー 2010

目的

- ・泡瀬地区の発見をテーマに自分たちの住んでいるまちの成り立ちについて、学ぶプログラム

開催日時

- ・平成22年3月22日（月）
- ・午前9：30 集合（泡瀬ビジュアル）、スタート、午後1：00 解散（泡瀬復興期成会）
- ※小雨であれば安全を確認して実施します。

実施方法

- ・スタンプラリー・マップに示された、各ポイントを歩いて回ります。
- ・ポイントでは、地域ガイドの皆さんから昔のお話や泡瀬に関わる解説を聞いて、理解を深めます。
- ・スタンプラリー・マップに各ポイントのスタンプを全部押して、ゴールへ帰ってきます。

参加申し込み

- ・開催のチラシの参加申し込み欄に必要事項を記入し申し込み。 **※3月11日（木）までに提出**
- ・対象者は、小学校4～6年生（男女問わず）、申込には親の同意が必要です。
- ・定員：約50名、5名で10グループを予定します。
- ・参加費は無料です。

主催

- ・沖縄市建設部東部海浜開発局



参加申し込み書

（※点線部分を切り取って申し込んでください。）

第1回 泡瀬地区スタンプラリー（平成22年3月22日開催）に

子どもだけで参加する

親子で参加する

参加しない

※参加者学年・氏名（ 学年、 ）、大人参加者氏名（ ）

(6) プログラム概要

“みんなのまち 泡瀬地区を歩いて 見てみよう！”

第1回 泡瀬地区スタンプラリー 2010 プログラム

目的

- ・泡瀬地区の発見をテーマに自分たちの住んでいるまちの成り立ちについて、学ぶプログラムです。
- ・第1回泡瀬地区スタンプラリーは、地域を学ぶ取組みを実験的にを行い、今後は自治会や学校・PTA等の協力で引き継いで、開催運営していくことを目的にしています。

開催日時

- ・平成22年3月22日(月)
- ・午前9:30 現地集合(泡瀬ビジュアル)、スタート、午後1:00頃 現地解散(泡瀬復興期成会)
- ※小雨であれば安全を確認して実施します。

実施方法

- ・当日、受付で配布するスタンプラリー・マップに示された、12か所のポイントを歩いて回ります。
- ・各ポイントでは、地域ガイドの皆さんから昔のお話や泡瀬に関わる解説を聞いて、理解を深めます。
- ・スタンプラリー・マップをもとに、番号順に進み、各ポイントのシールをマップに全部貼り付けて、ゴールへ帰ってきます。
- ・シールの貼り付けポイントは、①泡瀬ビジュアル、②積場跡(ちんばあと)、③匠の家、④前之御嶽(めーぬうたき)、⑧馬車軌道駅跡、⑨泡瀬塩田跡の碑、⑪比屋根湿地 です。

お願い

- ・当日は、子どもたちでコースを回りますので、道路の横断や車には十分気をつけるようお願いします。
- ・ゴールのポイントまで安全に、楽しく行えるよう親子で話し合ってください。

主催

- ・沖縄市建設部東部海浜開発局 (TEL: 932-1212 内線2672) 佐藤寛之

共催

- ・泡瀬復興期成会 渡嘉敷直也 (TEL: 934-9952)

問合せ

- ・事務局



(7) 事前準備一覧

ビジュアルでの受付、各説明ポイントにおいて、スタンプラリーの事前準備、当日準備等の一覧を整理した。



参加者シール

受付(ビジュアル)

用意するもの	数 量	備 考
・参加者名簿	1 枚	
・参加者ワッペン	参加者 28 名、関係者 20 名 計 50 枚	クリアファイルに貼付
・スケジュール表	3 枚	
・スタッフ電話番号一覧(ポイントの係員)	3 枚	
・テーブル、イス	1 式	泡瀬自治会
・スタンプラリーマップ マップ+シール貼付台紙	参加者 28 名 計 40 枚	
・参加者用クリアファイル	30 セット	※購入
・完走シール	30 枚	※印刷
・完走賞(飲物)	参加者 28 名 30 名	泡瀬小PTA
・完走賞(菓子)	参加者 28 名 30 名	期成会より
・救急箱	1 式	期成会より
・参加者アンケート	30 名	

各ポイント

用意するもの	数 量	備 考
・テーブル、イス	1 式	泡瀬自治会
・スタンプラリーマップ マップ+シール貼付台紙 マップ+ルート 完成形	予備10 1 枚 1 枚	※スタンプシール印刷
・収納ケース(A4サイズ)	12 セット	※購入
・参加者名簿	12 枚	ファイルで整理(購入)
・先生用あんちょこ一式	12 セット	
・スケジュール表	12 枚	
・新旧地図	12 セット	※クリアケース購入
・赤色ポイントシール		
・ポイントの名称	12 枚	※台紙に貼付、ひもで固定
・ルート矢印(例:→ビジュアル)	12 枚	※台紙に貼付、ひもで固定

(8) 各ポイントの概要

時間	順路・コースの各ポイント	説明内容、準備等
関係者 集合 8:30		泡瀬公民館 ・ マップ、シール、パネル、配布資料 ・ イス (7)、テーブル (7+2) ・ 救急箱
集合 9:30 9:40 スタート 1 (10分) 9:40		泡瀬復興期成会 ・ 受付、開会挨拶、説明、諸注意 ・ コースマップ配布 泡瀬ビジュアル ・ ビジュアル信仰 ・ ビジュアルの物語 ・ 泡瀬移住の歴史 ※シール①
2 9:45 (10分) 9:55		積場跡 (チンバアト) ・ 山原船、積荷 ・ 流通 ・ 産業のあらまし ※シール②
3 10:00 (15分) 10:15		匠の家 ・ 海中道路 ・ 当時の海岸線 ・ 泡瀬橋 ・ 樽皮：作り方と時代背景 ※シール③
4 10:25 (10分) 10:35		前之御嶽 (メーヌウタキ) ・ 御嶽とは ・ 祭り、行事 ・ 太鼓燈籠 ※シール④
5 10:40 (10分) 10:50		カーヌ毛 (共同井戸) ・ 井戸と人の暮らし ・ 区画整理の地面の底上げ ・ 井戸の紹介、ウブガー等

6 11 : 00 (10 分) 11 : 10		泡瀬マリナー ・ 基地の歴史 ・ 飛行場の場所、管制塔の場所 ・ バトラー地区：美東小学校周辺の直線道路の意味
7 11 : 15 (10 分) 11 : 25		泡瀬通信隊前 ・ 米軍基地として接收された泡瀬半島の返還の変遷 ・ アンテナ、アンテナ施設以外に、水鳥の生息地としても知られている
8 11 : 30 (10 分) 11 : 40		馬車軌道駅跡 ・ 馬車軌道とは：路線図、交通・流通の話 ※シール⑧
9 11 : 45 (10 分) 11 : 55		泡瀬塩田跡の碑 ・ 塩田の歴史 ・ 塩作り ※シール⑨
10 12 : 00 (5 分) 12 : 05		泡瀬の塔 ・ 建立の由来 ・ 慰霊祭

11 12 : 10 (10 分) 12 : 20		比屋根湿地 ※シール⑪
12 12 : 25 (10 分) 12 : 35		米軍泡瀬飛行場滑走路跡
ゴール 12 : 50 解散 13 : 00		泡瀬公民館 ・参加者確認 ・完走賞配布 ・アンケート記入 ・終わりのあいさつ（復興期成会） ・解散 ※シール（ゴール）

※スタンプラリー各ポイントの現状確認、事前に歩行ルートの様子を把握した。



① 泡瀬ビジュアル（境内に集合・受付）



② 積場跡（手前の消防署付近に変更）



③ 匠の家（屋内及び道具類を見学）



④ 前之御嶽



⑤ カヌモ（広場で説明）



⑥ 泡瀬マリーナ（中には入らず手前で）



⑦ 泡瀬通信隊前（ゲート手前付近で）



⑧ 馬車軌道駅跡（空き地付近）



⑨ 泡瀬塩田跡の碑（碑前で説明）



⑩ 泡瀬の塔（あずま屋付近で説明）



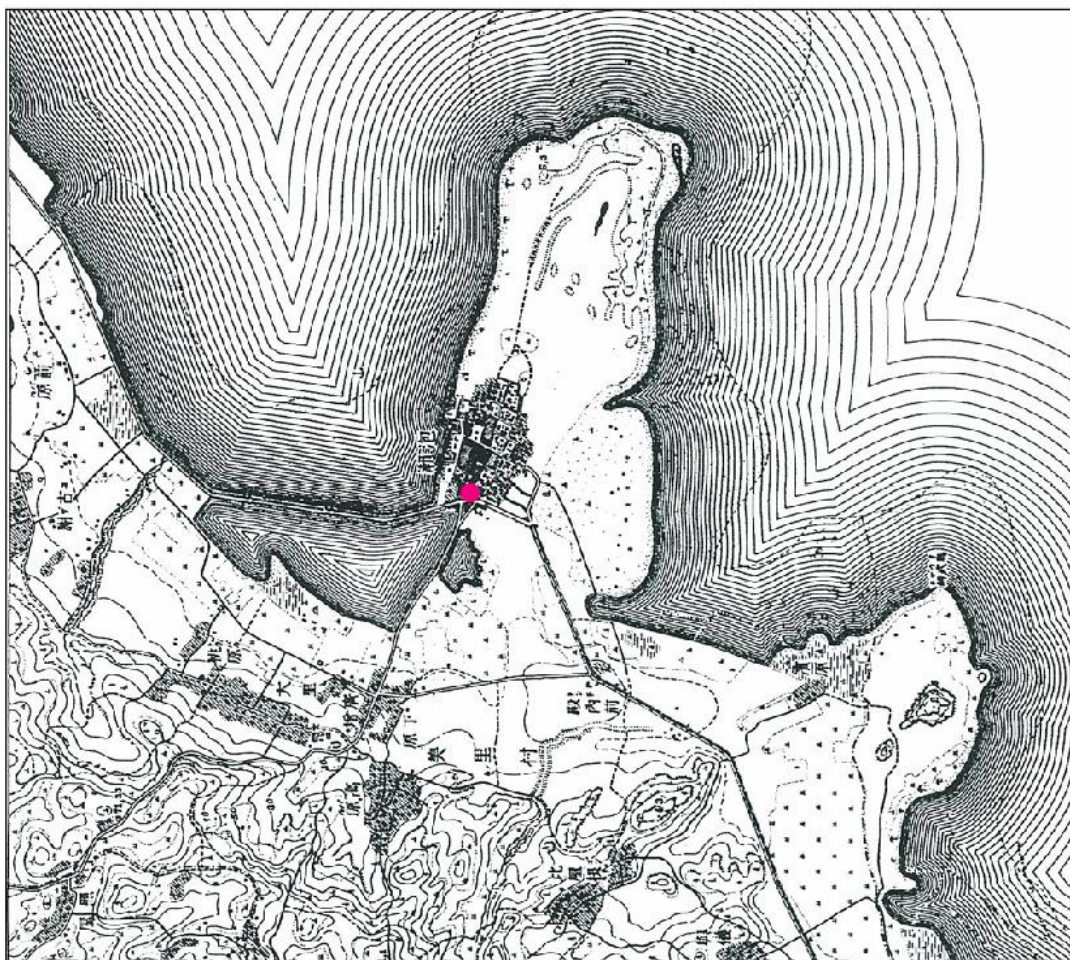
⑪ 比屋根湿地（水路付近で説明）

⑫ 米軍泡瀬飛行場滑走路跡（かねひで付近）

- ・各ポイントでテーブルを置いた説明場所、付近の通行ルート等の確認を行った。
- ・積場跡、泡瀬マリーナのポイントについては、移動距離や安全性を考慮してアプローチしやすい場所に変更した。

1. 泡瀬ビジュアル

(9) 各ポイントの新旧地図



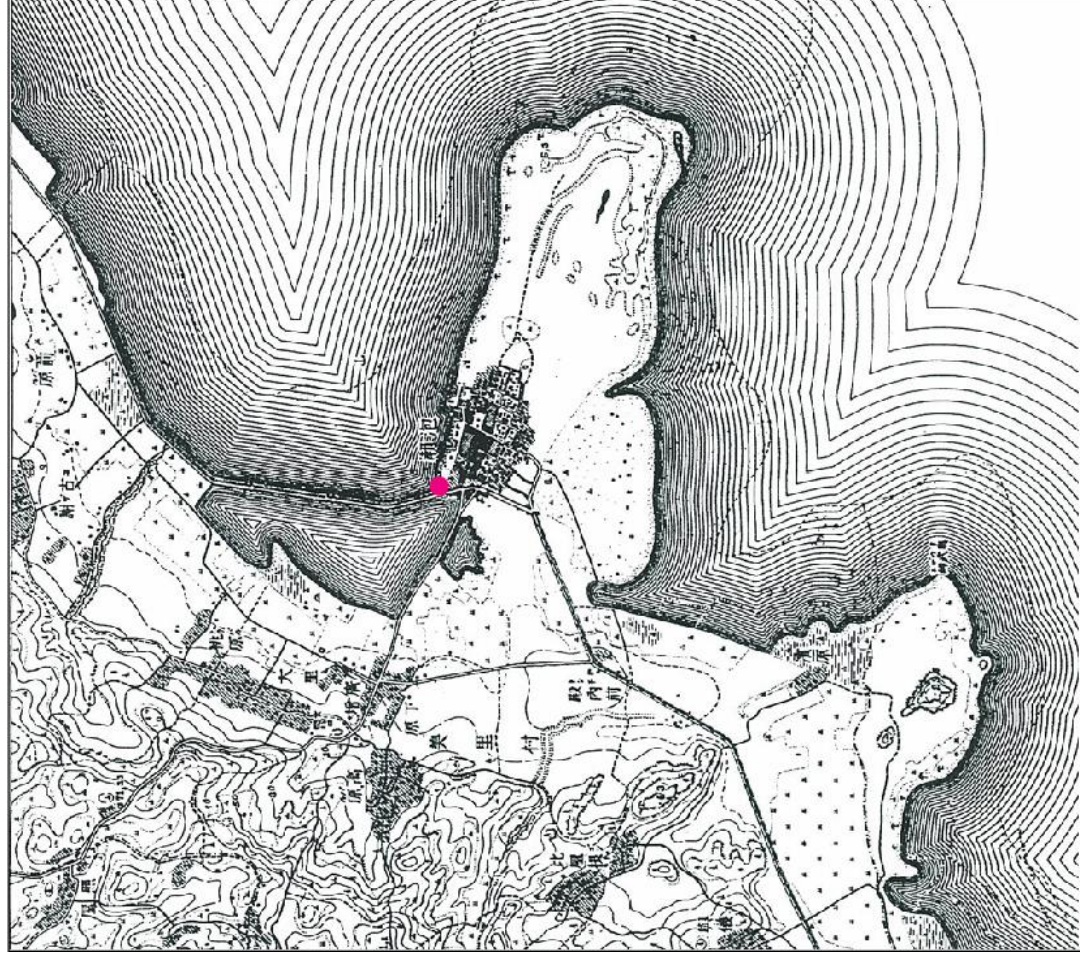
「参謀本部陸地測量部1/25,000地形図 泡瀬 大正8年(1919年)発行」より



「国土地理院1/25,000地形図 沖縄市南部 平成20年(2008年)発行」より

※A3原稿シートを縮小

ちんばあと 2. 積場跡



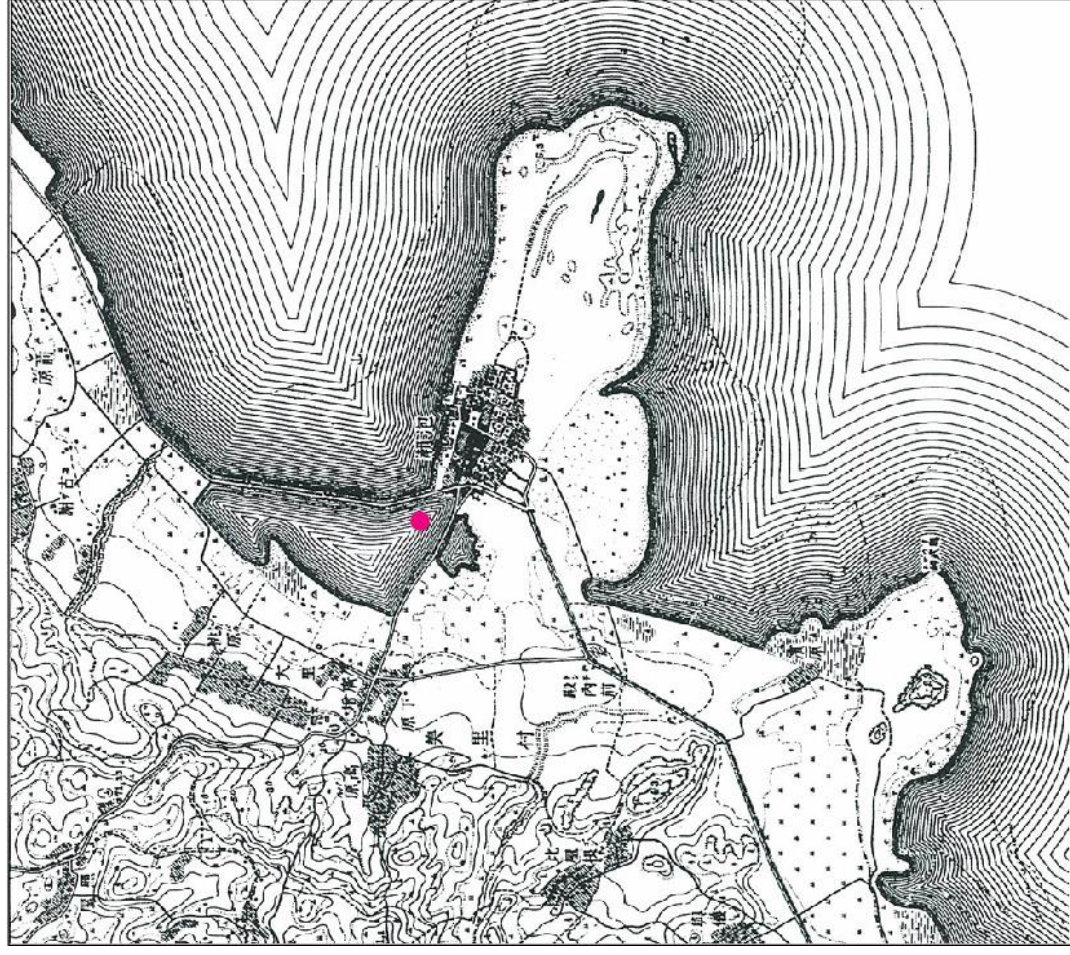
「参謀本部陸地測量部1/25,000 地形図 泡瀬 大正 8 年（1919 年）発行」より



「国土地理院1/25,000 地形図 沖縄市南部 平成 20 年（2008 年）発行」より

※ A3 原稿シートを縮小

たくみのいえ 3. 匠の家



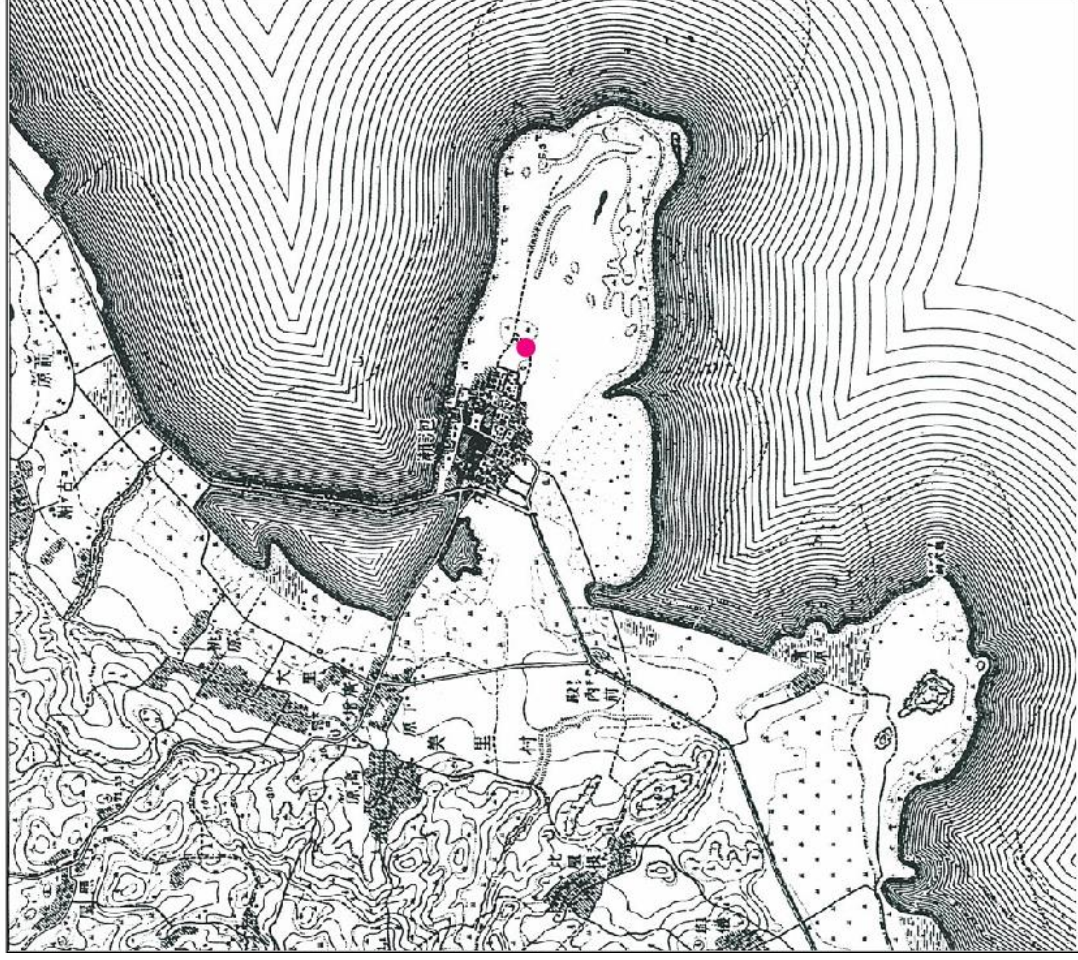
「参謀本部陸地測量部 1/25,000 地形図 泡瀬 大正 8 年 (1919 年) 発行」より



「国土地理院 1/25,000 地形図 沖繩市南部 平成 20 年 (2008 年) 発行」より

※A3 原稿シートを縮小

めーぬうたき 4. 前之御嶽



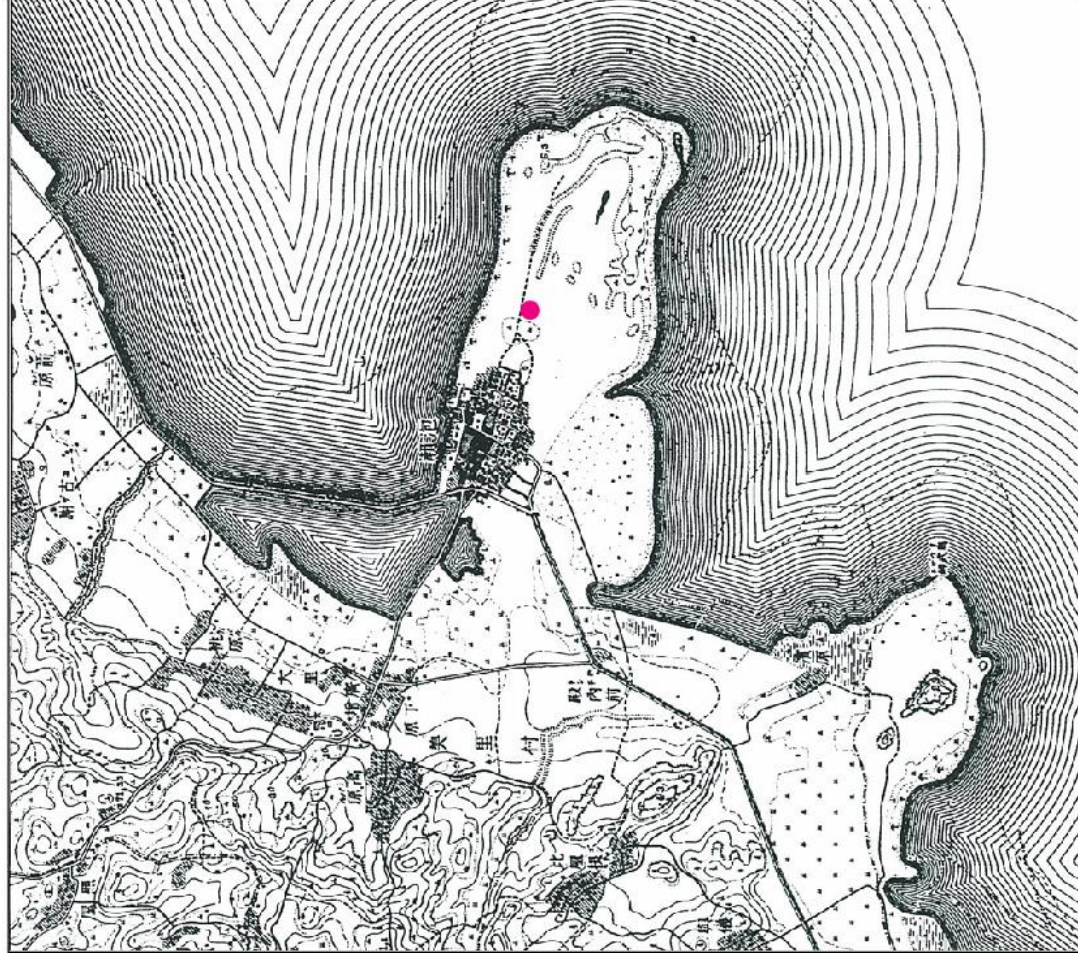
「参謀本部陸地測量部 1/25,000 地形図 泡瀬 大正 8 年 (1919 年) 発行」より



「国土地理院 1/25,000 地形図 沖縄市南部 平成 20 年 (2008 年) 発行」より

※A3 原稿シートを縮小

もう 5. カーヌ毛



「参謀本部陸地測量部 1/25,000 地形図 泡瀬 大正 8 年（1919 年）発行」より



「国土地理院 1/25,000 地形図 沖繩市南部 平成 20 年（2008 年）発行」より

※A3 原稿シートを縮小

6. 泡瀬マリーナ



「進駐米軍 昭和23年（1948年）作成 1/4,800 地図」より



「国土地理院 1/25,000 地形図 沖縄市南部 平成20年（2008年）発行」より

※A3 原稿シートを縮小

あわせつうしんたいまえ 7. 泡瀬通信隊前



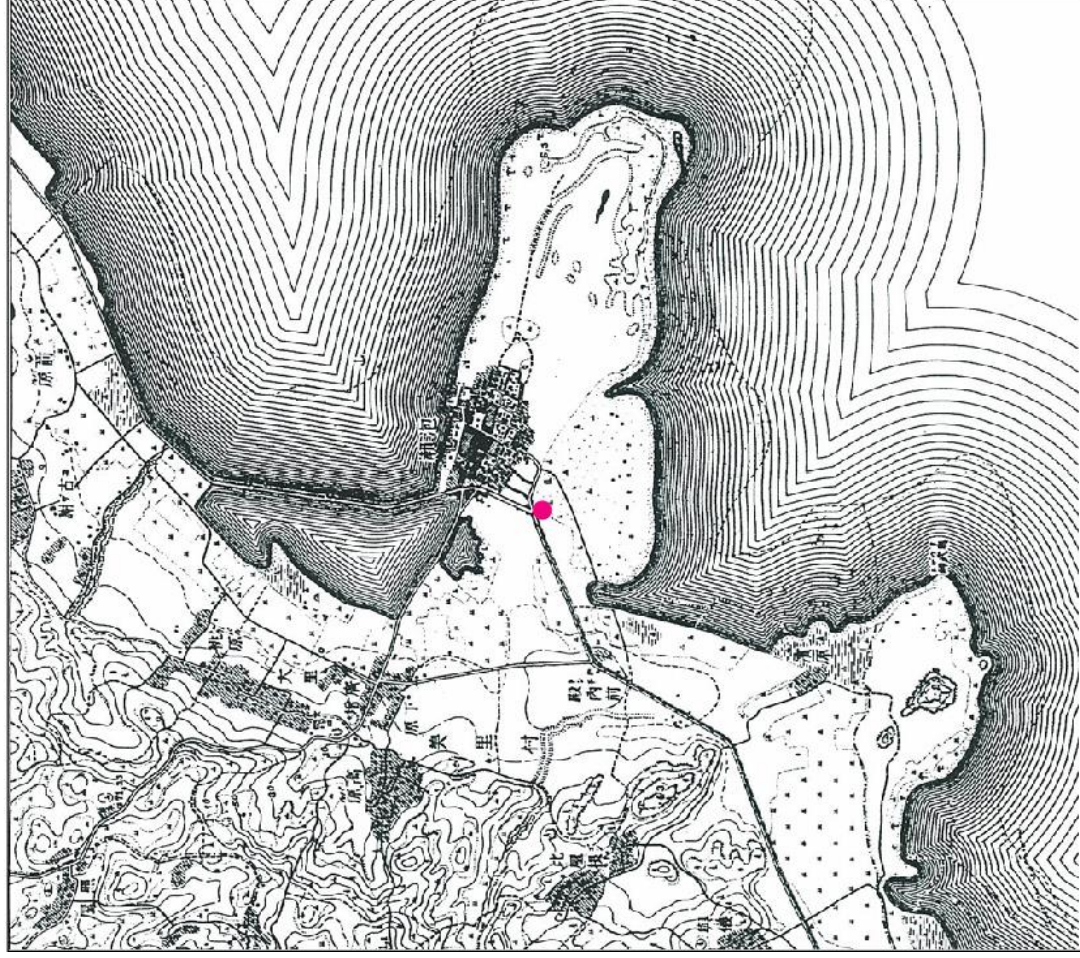
「進駐米軍 昭和23年 (1948年) 作成 1/4,800 地図」より



「国土地理院 1/25,000 地形図 沖縄市南部 昭和49年 (1974年) 発行」より

※A3 原稿シートを縮小

ばしゃきどうえきあと 8. 馬車軌道駅跡



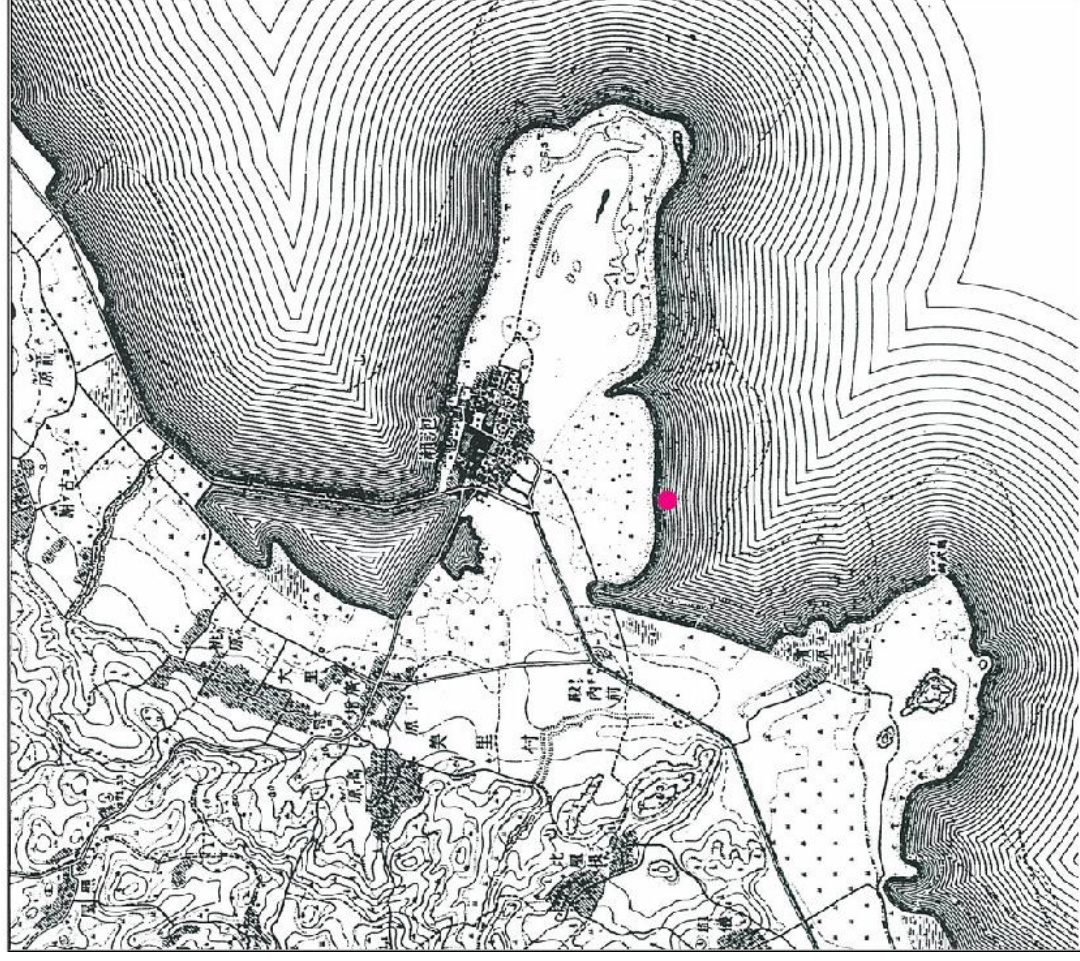
「参謀本部陸地測量部1/25,000 地形図 泡瀬 大正8年（1919年）発行」より



「国土地理院1/25,000 地形図 沖縄市南部 平成20年（2008年）発行」より

※A3原稿シートを縮小

あわせえんでんあとのひ 9. 泡瀬塩田跡の碑



「参謀本部陸地測量部1/25,000地形図 泡瀬 大正8年（1919年）発行」より



「国土地理院1/25,000地形図 沖縄市南部 平成20年（2008年）発行」より

※A3原稿シートを縮小

あわせのとう 10. 泡瀬の塔



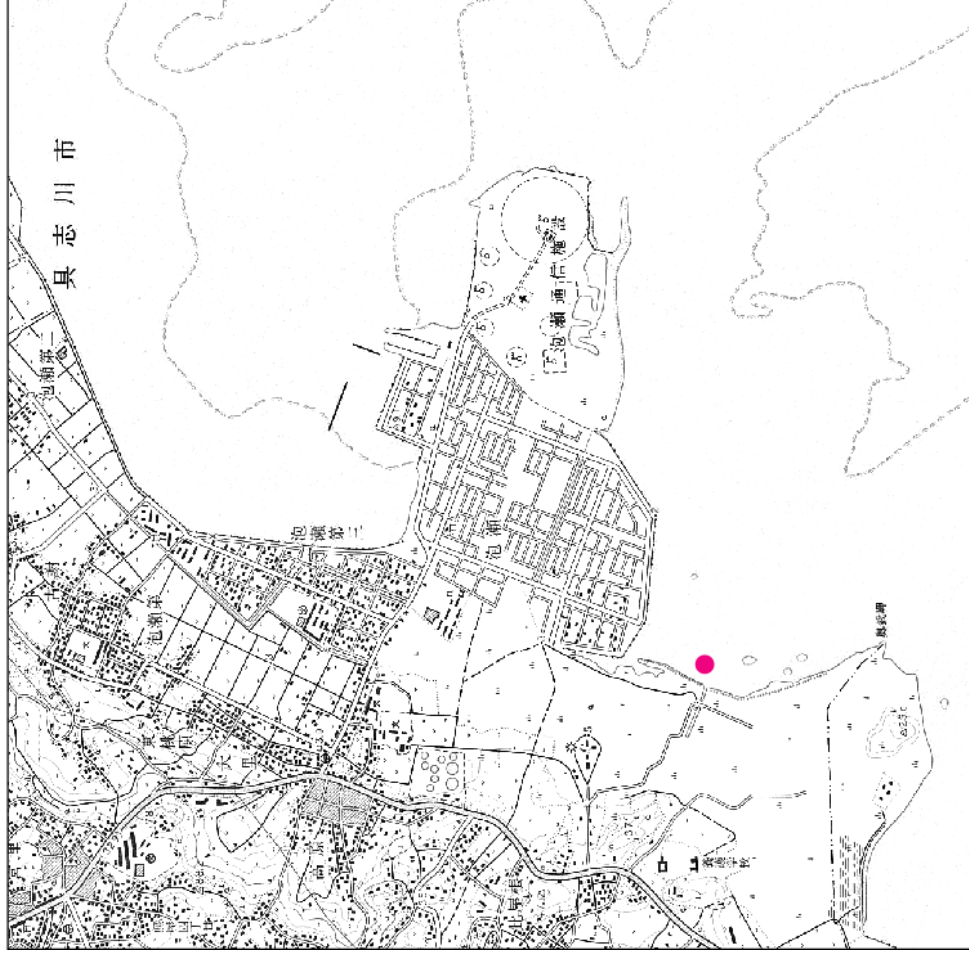
「国土地理院1/25,000 地形図 沖縄市南部 昭和49年（1974年）発行」より



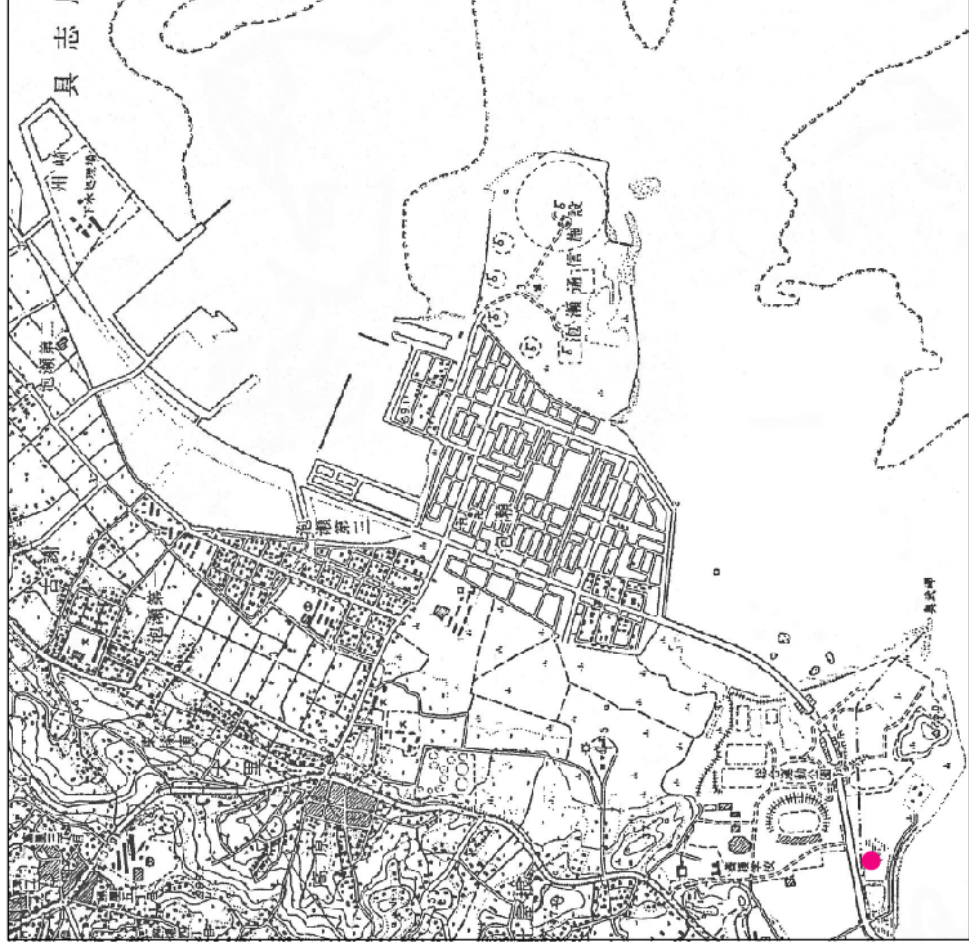
「国土地理院1/25,000 地形図 沖縄市南部 平成20年（2008年）発行」より

※A3 原稿シートを縮小

ひやごんしっち 11. 比屋根湿地



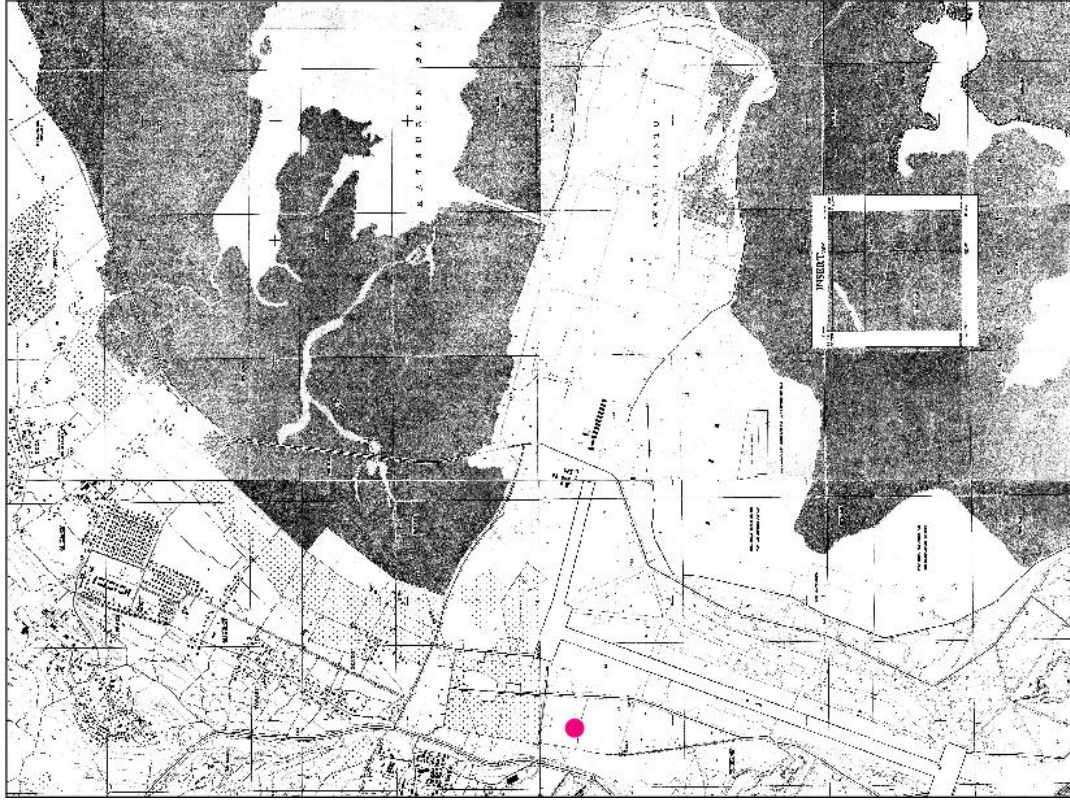
「国土地理院1/25,000 地形図 沖縄市南部 昭和60年（1985年）発行」より



「国土地理院1/25,000 地形図 沖縄市南部 平成5年（1993年）発行」より

※A3 原稿シートを縮小

べいぐんあわせひこうじょうつかうそうろあと
12. 米軍泡瀬飛行場滑走路跡



「進駐米軍 昭和23年（1948年）作成 1/4,800 地図」より



「国土地理院1/25,000 地形図 沖縄市南部 平成20年（2008年）発行」より

※ A3 原稿シートを縮小

(10) 各ポイントの説明資料

1. 泡瀬ビジュアル



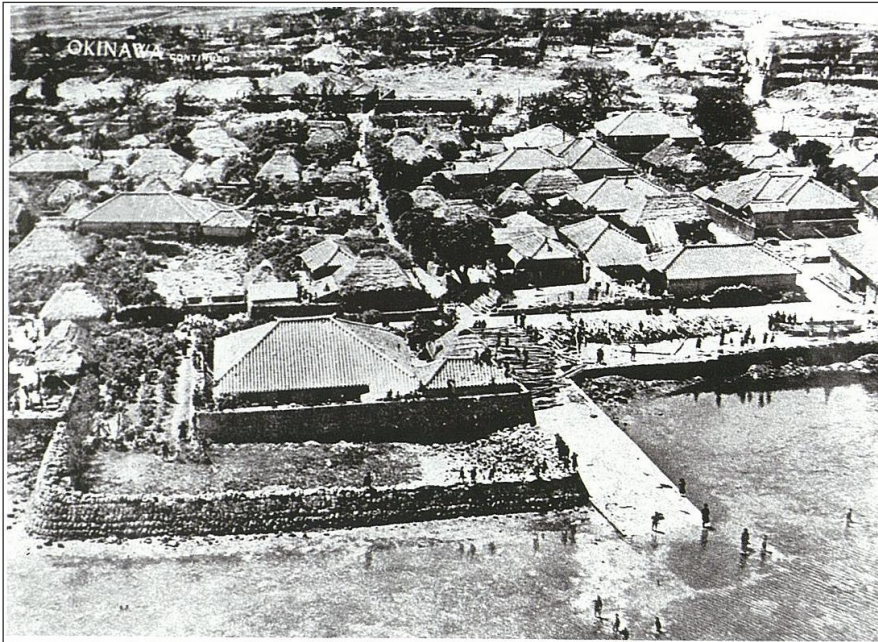
ビジュアルとは霊的な力を持っていると信じられている石のことで、豊作、豊漁、子授けなどを願って祀られています。沖縄本島にはこのようなビジュアルが約 100 ヶ所あるといわれています。

泡瀬ビジュアルについては、昔々、高江洲義正（たかえすぎしょう）という人が初めて泡瀬の地に住み始めて間もない頃、ある日漁に出た高江洲さんは海に浮かんでいる不思議な石を見つけ、それを持ち帰って石の祠（ほくら）を建てて大切に祀ったのが始まりだといわれています。

現在では数多くの人がお参りに訪れています。旧暦の 9 月 9 日に行われるビジュアル祭では、関係者がビジュアル前に集合し、この 1 年の無病息災〔病気をしないで健康であったこと〕、平穏無事〔何事もなく穏やかであったこと〕を感謝するとともに、これからの 1 年のそれを祈ります。その後、区内 6 カ所の御嶽（うたき）を巡った後、ビジュアル前に戻って歌や踊りが捧げられます。

泡瀬の街は今次大戦によって商店街や住宅地が戦火に焼かれるなどして残っていませんが、唯一ビジュアルだけが被災を免れて今に残っています。したがってビジュアルは戦前の泡瀬の姿を残す唯一の建造物といえます。

2. 積場跡（ちんばあと）



※1945 年（昭和 20 年）積場跡 「泡瀬村創設百周年記念誌」泡瀬復興期成会

山原からの荷物を積んだ通称山原船と呼ばれる船の寄港地が泡瀬にありました。これら荷物の積み下ろしをした場所を積み場（ちんば）と呼んでいました。

今の漁港の奥の船揚場へと向かうあたりに当時のちんばがあり、三つのちんばに分かれていて、中の津口（現漁港）と西の津口（大正 5，6 年整備）東の津口（大正末頃整備）とがあったようです。

山原からは木材や炭などが多く運ばれており、これらの中南部への荷卸点として泡瀬は発展し、津口を控えた海岸通には木材・薪炭材業者が十数件も軒を連ね、荷馬車や荷車の出入りも多く、タムンヤー（たきぎを置いておく家）通りとしていつも活気に満ちていたそうです。

3. 匠の家



塩作りなどで泡瀬が栄えていたころ泡瀬にもうひとつ産業がありました。

製糖業で出来る黒砂糖を運搬するための簡素な容器としてタルガー（樽皮）と呼ばれる容器を製造していました。

木の枚数や重さ大きさなどが決められた樽は、那覇や泡瀬に在った検査所で合格したあと、製糖工場で黒砂糖を入れる容器として使われました。戦後しばらくは作られていましたが、ダンボールの普及に伴い使われなくなってしまいました。ここ匠の家は平成14年2月に塩作りやタルガー製作を復元するための作業所として開設された場所です。現在は、昔の道具や民具等を工作し、収集展示する場所として活用されています。



※タルガー（樽皮）
・実物よりひとまわり小さい

4. 前之御嶽（めーぬうたき）



泡瀬ビジュアルから大通りを東側に 300mほど進み、ふたば薬局の手前を右折して 100mほど進むと、道路左側に「前之御嶽」があります。前之御嶽と「火之神」（ヒヌカン）、「産井泉」（ウブガー）は隣り合っているので巡るのには便利です。

前之御嶽は、その昔無人の小島だった泡瀬に集落ができた頃、人々は島の中程に石造りの祠を造り「繁盛の神」として崇めたのが由来とされています。石灰岩（俗に海石）でできた石祠は現存する泡瀬の拝所の中で最も古い石祠とされています。200余年の風雪に耐えてきた石祠の保護のため平成7年に上屋の建造がなされて、現在では瓦屋根の建物の中に納められています。

今でも泡瀬の伝統行事を行なう場所として使われています。

5. カーヌ毛



昭和50年代の土地区画整理で泡瀬一帯は1mほど全体的にかさ上げされています。当時の地面の位置は、井戸の前にある少し低くなっている場所の高さでした。戦後すぐに泡瀬が飛行場にされた時、カーヌ毛の裏側に滑走路資材としてコールドールが積んであり、それが燃え出して何日間も燃え続けたことがあったそうです。今でも、カーヌ毛の北側の地面を掘るとコールドールで固まった岩石が出てきたりしますが、これはその時のものだそうです。

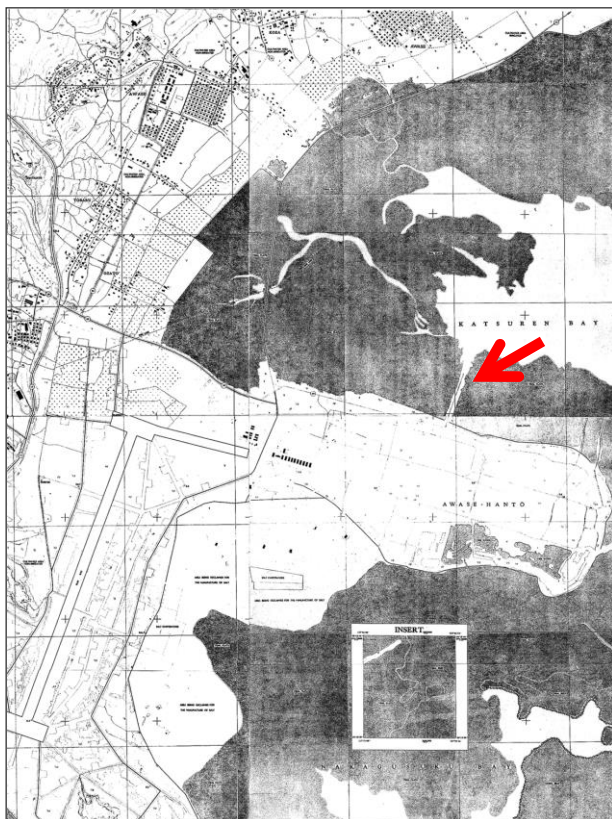
飲み水として長い間、大切にされてきており子供がカーヌ毛で悪さをするとすごく怒られたそうです。水道の普及に伴って、現在では飲み水として使われることはありませんが、戦前には子供たちが学校から帰ると荷車に満水にした大桶を積んで家まで運ぶその姿は、泡瀬の風物として知られていたとのことでした。

6. 泡瀬マリーナ



※米軍航空写真
昭和 19 (1944 年) 撮影

沖縄戦終結後すぐに、泡瀬半島は米軍に接收され飛行場になりました。ここ泡瀬マリーナはその際に米軍が作業用に敷設した栈橋の場所に作られています。



※進駐米軍 昭和 23 (1948 年)
作成 1/4,800 地図より

7. 泡瀬通信隊前

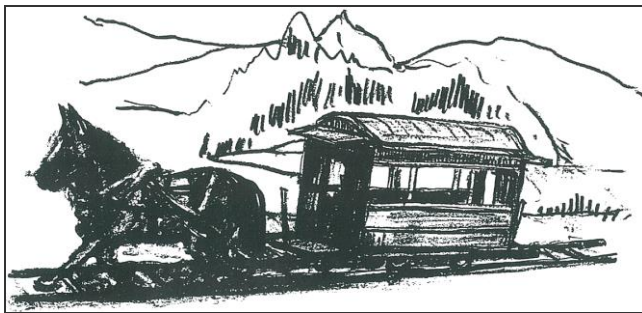


泡瀬通信施設(55ha)は沖縄市の泡瀬半島の先端に位置し、米海軍第7艦隊の通信業務が行なわれています。泡瀬漁港に近接し北側には中城港湾が位置しています。

沖縄戦終結後接收されていた泡瀬半島は昭和40年から段階的に返還され、昭和45年までの6回の返還で20万坪、昭和51・52年の返還で53万坪が返還されその多くは現在、県総合運動公園になっています。現在の泡瀬ではこの通信施設にあるアンテナと通信施設のみが残って使用されています。

泡瀬飛行場の建設のために砂を掘ったためにため池ができており、基地内のフェンスわきにある池は、周囲を木々がうっそうと生い茂り、サギなど水鳥が翼を休める隠れたオアシスとなっています。

8. 馬車軌道駅跡



※馬車軌道のスケッチ（「写真集ふるさと泡瀬」泡瀬復興期成会）



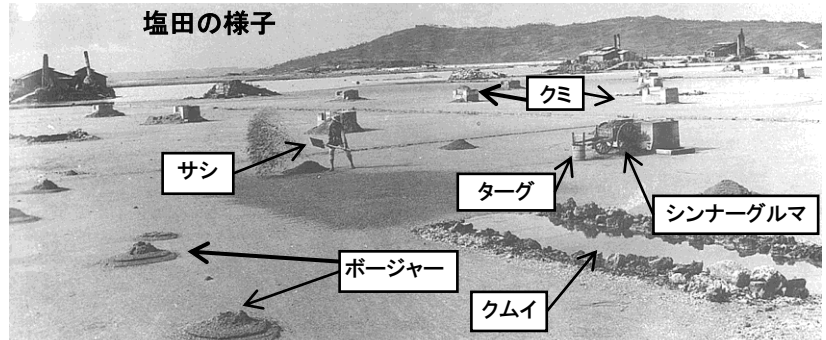
大正時代(大正 5 年、1916 年)の泡瀬では、線路の上の貨車や客車を馬が引く馬車軌道と呼ばれる交通機関が与那原との間で運行されていました。泡瀬は、その路線のターミナル駅として発展していたようです。

当時の町並みからは馬車軌道関連の店や山原船からの木材を扱う店などが多く見られ、当時高価だったそば屋やてんぷら屋、パン屋なども見られ活気に満ちた町であったことがうかがえます。

馬車軌道は昭和に入り(1930 年、昭和 5 年)に同じ区間にバスが運行されるようになって姿を消していきました。

今では駅のあった名残などは見つけることが出来ませんが、泡瀬公民館の後側のあたりが当時の駅のあった場所になっています。

9. 泡瀬塩田跡の碑



沖縄で本格的な製塩が始まったのは 1694 年（元禄 7 年）のことで、那覇の泊の干潟で生産を開始したと伝えられています。1768 年（明和 5 年）に泡瀬に初めて移り住んだ高江洲義正という人が始めたと伝わっています。

沖縄の塩の主な生産地は、那覇・泡瀬・豊見城・羽地・具志川の 5 つの地域でした。1904（明治 37）年までは那覇の生産高が県内一でしたが、1905（明治 38）年以降は泡瀬がこれを上回るようになりました。

泡瀬の塩田があったのは、三丁目のあたりで、泡瀬小学校の前を通る水路から南側には塩田がひろがっていました。

沖縄戦や戦後の米軍基地建設などの影響、塩田を使わない新しい製塩方法が主流となると、泡瀬の塩田は使われなくなっていきました。塩田一帯は 1978（昭和 53）年からはじまった土地区画整理事業により埋め立てられました。

戦前同公園を含む一帯は広大な潮干潟であり、数十棟のシンナーヤー（潮焚き小屋）が立ち並び、砂庭（シンナー）ではシンナーアッチャーたちが塩づくりに精出しているのが日常の風物でした。製塩に有利な地の利に恵まれ、戦前までアーシマースは泡瀬のシンボルみたいなものでした。そのおかげで交易地としても大いに栄えることになりました。泡瀬塩田跡の碑は戦前の泡瀬の発展の基盤であった塩田と、それを支えた先人たちの労苦と英知を永く後生に語り継ぐものとして、平成 15 年 8 月に同公園の東側に建立されました。

10. 泡瀬の塔



泡瀬の塔は、日露戦争から第2次世界大戦までの戦争及び戦火の犠牲となった泡瀬出身の軍人軍属、児童並びに一般住民の御霊 880 余柱を合祀して平成7年8月 15 日に建立されました。毎年6月23日の慰霊の日には慰霊祭が執り行われます。

平成12年8月6日（日）には第6回「泡瀬の塔」慰霊祭が泡瀬復興期成会の主催によって盛大に催されました。

1 1. 比屋根湿地



写真1 1970年(昭和45年)



写真2 1984年(昭和59年)



写真3 1993年(平成5年)



2007年(平成19年)の比屋根湿地。マングローブ林が繁茂しています。



比屋根湿地内のマングローブ林。2008年(平成20年)撮影。



比屋根湿地内で見られるクミの跡。2008年(平成20年)撮影。

沖縄が本土に復帰(昭和47年、1972年)したあとの1987年(昭和62年)に開催された海邦国体の開催に伴い現在ある泡瀬バーストリートと呼ばれる道路が造られました。その際に海岸線と道路に挟まれた部分が湿地として残されました。この場所が比屋根湿地です。

干潟と比屋根湿地を分けている湾岸道路は、1985年(昭和60年)頃工事が行われ、これにより湿地と海とは水門2カ所につながることとなり、淡水と海水が混じり合う汽水域となっています。

現在の比屋根湿地でみられるマングローブ林は、1990年(平成2年)頃に人の手によって植栽されたもので、メヒルギ、オヒルギ(アカバナヒルギ)、ヤエヤマヒルギの3種類が生育しています。それから約20年で県内でも有数のマングローブ林となり、渡り鳥やシオマネキの仲間、ミナミトビハゼ(トントンミー)など様々な生きものが住む環境となっています。また、比屋根湿地の中には、廃業して放置されたクミと呼ばれる塩作りに使用したろ過装置の跡を見ることができます。

1 2. 米軍泡瀬飛行場滑走路跡



1945（昭和20年）年5月1日、米国海軍により着工した泡瀬飛行場は、1,520mの滑走路を持つ米国海軍専用の飛行場として7月完成しました。

1945年9月に本格的な運用が始まる予定でしたが、日本の敗戦のため一部を残して放棄されていました。

その後、1977年（昭和52年）3月、通信施設を除き、返還されました。現在は、沖縄県総合運動公園、市街地などに整備されています。都市計画に基づく土地区画整理事業実施のため、かつての飛行場の跡はまったく残っていません。

この場所は、当時飛行場の管制塔があった場所になります。このほかにも、美東小学校の前の直線道路が飛行場整備のための倉庫群と飛行場をつなぐ連絡道路だったり、泡瀬マリーナなど飛行場時代の特徴を残しているところを見ても面白いです。

